



オフの日は、この街から
出たくありません！

箕輪はるか(みのわはるか)

1980年生まれ。芸人。武蔵野市立大野田小学校、武蔵野市立第四中学校卒業。

早稲田大学卒業後、吉本総合芸能学院(NSC)を経て2003年、お笑いコンビ「ハリセンボン」でデビュー。

ボケ担当。けん玉は三段の腕前。

むさしの
Talk

箕輪はるかさん

「角野卓造、じゃねえよ！」でお馴染み近藤春菜さんとお笑いコンビ「ハリセンボン」で大人気の芸人・箕輪はるかさん。9歳から住み続けるホームタウン武蔵野市を離れない理由とは？

小学校3年生の時、武蔵野市の市営住宅に引っ越してきて以来、ずっと武蔵野市在住です。小学生のころの私はもっとうざってましたね(笑)。友だち同士の小さいグループの中ではリーダーになりたいタイプで、結構仕切ってました。よく遊んだ思い出があるのは市役所隣の「むさしの市民公園」です。小さいころからスポンしかはかない子どもで、遊び方も男の子みたいでした。それが、中学生ぐらいから人見知りになって、徐々に今みたいな感じに近づいていったというか。中学に入って制服のスカートをはかきやいけないのがすごく嫌だったんですよ。ちょうど男子のことも意識し始めた時期で、それでだんだん消極的な性格になっちゃったのかもしれない。そんな自分が嫌で芸人を目指したようなところもあります。

芸人になってから、もともと都心で一人暮らしをしようかなと思った時期もあったんですけど、やっぱり住み慣れた吉祥寺が一番落ち着くという結論になりました。吉祥寺に慣れちゃうと、他の街に行くのが疲れちゃうんですよ。歩いている人も、いい意味で緊張感がないというか、みんな生活圏にしている感じがあって居心地がいい。だから、仕事が休みの日はこの街から出た



むさしの市民公園(緑町2-2)

PRESENT

今回取材した箕輪はるかさんの直筆サイン色紙を抽選で5名の方にプレゼント!詳しくは本誌折込みハガキをご覧ください。

